



第39回シベチャリ駅伝大会 10/12

『第39回シベチャリ駅伝大会』（実行委主催）がピュア前を発着点に開かれました。
大会には、小学生から70代まで町内外から43チーム215人が出場。年齢や性別、過去の実績別に5クラスに分かれ、5人1チームで2^きの周回コースを1人1周走り、たすきをつなぎました。
秋晴れの下、ランナーは沿道の声援を受けながら優勝を目指し、日ごろ鍛えた自慢の足とチームワークで特設コースを疾走しました。



第17回健康まつり 10/4

『第17回新ひだか町総合ケアセンター健康まつり』が同センターで開かれ、多くの町民でにぎわいました。
会場では、血液サラサラ検査や血糖値、ストレス度測定などの健康チェックのほか、メインコーナーの「わかる・差がつく運動体験」では、健康運動指導士の長谷川拓介さんが講師を務め、ストレッチ体操やノルディックウォーキングが行われました。ストレッチ体操では、長谷川さんがテニスボールを使って座りながらできる運動法を指導し、参加者は日ごろの運動不足を解消しました。



文化講演会・町ふるさと大使認定 9/27

町文化団体協議会三石支部による『文化講演会』が町福祉センターで開かれ、三石旭町出身で元日本大学生産工学部教授の木田哲量さん(72)が「橋に魅せられて」と題し、橋の歴史や種類、建設過程などについて講演しました。
講演に先立ち、酒井町長から木田さんに「町ふるさと大使」の認定証が贈られました。町ふるさと大使は、町出身者などが町の素晴らしさを全国に広くPRし、観光客の呼び込みに協力してもらう目的で制定し、木田さんで5人目となりました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



医療体験学習 10/15

将来の地域医療を担う人材育成を目的として『医療体験学習』が、静内第二中学校（大橋勝校長、生徒29人）で行われました。
生徒たちは手術衣や手袋などを身に付けて、心臓カテーテルシミュレーターや心臓エコー操作などに挑戦。中山太一生徒会長は「初めて医療器具に触れ、全校生徒にとって良い体験となった」と感想を述べ、生徒たちは医療への興味や関心を広げる貴重なひとときを過ごしました。



防災訓練 10/10

町防災会議による『防災訓練』が静内駒場と静内木場町、静内東別、三石西端の4地区を対象に行われ、地域住民約60人が参加しました。
訓練は東日本大震災を踏まえ、津波を想定した避難訓練を実施。静内駒場では、車いすなどで災害時に要援護者となるグループホーム入所者の避難訓練が行われました。参加者は、自宅から避難場所までの避難経路の確認や避難時間を把握し、万が一の事態に備えました。



かんたん写真絵本づくり 9/28

読書週間事業『世界でたった1冊！かんたん写真絵本づくり』が三石図書館で開かれ、16人が参加しました。
十勝管内芽室町在住の写真家・小寺卓矢さんが講師を務め「読んだ人が命を感じる写真絵本」をテーマに、絵本づくりに挑戦。参加者は、図書館周辺の自然風景をデジタルカメラで撮影し、撮った写真を使って物語を考え、思い思いに写真絵本を制作しました。



ベートーヴェンの夕べ 9/20

オーケストラの演奏会『ベートーヴェンの夕べ』が、日本軽種馬協会北海道市場で開かれました。
チェコを拠点に活躍し、町のサポート大使を務める指揮者の武藤英明さん率いるチェコ国立室内管弦楽団が、交響曲第7番などを演奏。
同会場でのオーケストラの演奏会は初めてで、会場には町内外から約600人の聴衆が訪れ、通常のコンサートホールとはひとあじ違った響きや雰囲気堪能しました。



農業まつり 10/12

地場産農産品などを販売する『2014しずない農業まつり』がしずない農協前駐車場で開かれ、ミニトマト「太陽の瞳」や新米「万馬券」などを買い求める大勢の客でにぎわいました。



朗読でつづる郷土ゆかりの文学 10/4

元HBCアナウンサーの田村英一さんの朗読と、ギタリストの佐藤洋一さんの演奏による、静内の開拓を描いた小説「お登勢」の朗読会が町公民館で開かれました。



『下水道の日』一般公開 9/21

9月10日の『下水道の日』にちなみ、三石浄化センターを一般公開しました。来場者は、施設内を見学しながら汚水の処理工程を学び、下水道への関心や理解を深めました。



海投げ釣り 9/27

わんぱくチャレンジスクール『海投げ釣り』が三石浦里海岸で開かれ、町内の小学生9人が参加しました。全員がアブラコなどを続々と釣り上げ、釣りの魅力を体感しました。